

「薬が効かない（薬剤耐性）感染症に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 薬が効かない（薬剤耐性）感染症に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 抗生物質の理解度について
(2) 抗生物質の服薬に関する意識について
(3) 薬剤耐性の理解度について
(4) 薬剤耐性対策の理解度について
- 3 関係省庁 内閣官房（国際感染症対策調整室）
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国18歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000人
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- 5 調査時期 令和元年8月22日～9月1日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,667人 (55.6%)
(2) 調査不能数(率) 1,333人 (44.4%)
－不能内訳－
転居 127 長期不在 92 一時不在 515
住所不明 19 拒否 516 災害 0
その他 64
(病気など)

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率			
			%				%				%			
男	18～19歳	90	43	47.8	男	18～19歳	46	20	43.5	女	18～19歳	44	23	52.3
	20～29歳	282	100	35.5		20～29歳	134	44	32.8		20～29歳	148	56	37.8
	30～39歳	396	191	48.2		30～39歳	199	96	48.2		30～39歳	197	95	48.2
女	40～49歳	535	306	57.2	女	40～49歳	256	136	53.1	女	40～49歳	279	170	60.9
	50～59歳	429	249	58.0		50～59歳	208	111	53.4		50～59歳	221	138	62.4
計	60～69歳	463	299	64.6	計	60～69歳	210	138	65.7	計	60～69歳	253	161	63.6
	70歳以上	805	479	59.5		70歳以上	375	237	63.2		70歳以上	430	242	56.3
計		3,000	1,667	55.6	計		1,428	782	54.8	計		1,572	885	56.3

調査結果の概要

1 抗生物質の理解度について

(1) 抗生物質について知っていること

薬の分類の一つである「抗生物質」について、知っていることはあるか聞いたところ、「細菌が増えるのを抑える」を挙げた者の割合が 66.2%と最も高く、以下、「ペニシリンは抗生物質の一つである」(42.6%)、「様々な種類があり、感染した細菌の種類や体の箇所などに応じて、使い分ける必要がある」(39.4%)、「風邪やインフルエンザなどの原因となるウイルスには効かない」(37.8%)などの順となっている。なお、「名前を聞いたことはあるが、どういうものかは知らない」と答えた者の割合が 12.7%となっている。(複数回答、上位4項目)

都市規模別に見ると、「ペニシリンは抗生物質の一つである」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「ペニシリンは抗生物質の一つである」を挙げた者の割合は男性で、「様々な種類があり、感染した細菌の種類や体の箇所などに応じて、使い分ける必要がある」、「風邪やインフルエンザなどの原因となるウイルスには効かない」を挙げた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「細菌が増えるのを抑える」、「様々な種類があり、感染した細菌の種類や体の箇所などに応じて、使い分ける必要がある」を挙げた者の割合は 40 歳代、50 歳代で、「ペニシリンは抗生物質の一つである」を挙げた者の割合は 60 歳代で、「風邪やインフルエンザなどの原因となるウイルスには効かない」を挙げた者の割合は 30 歳代から 50 歳代で、それぞれ高くなっている。

(図 1、表 1)

図1 抗生物質について知っていること

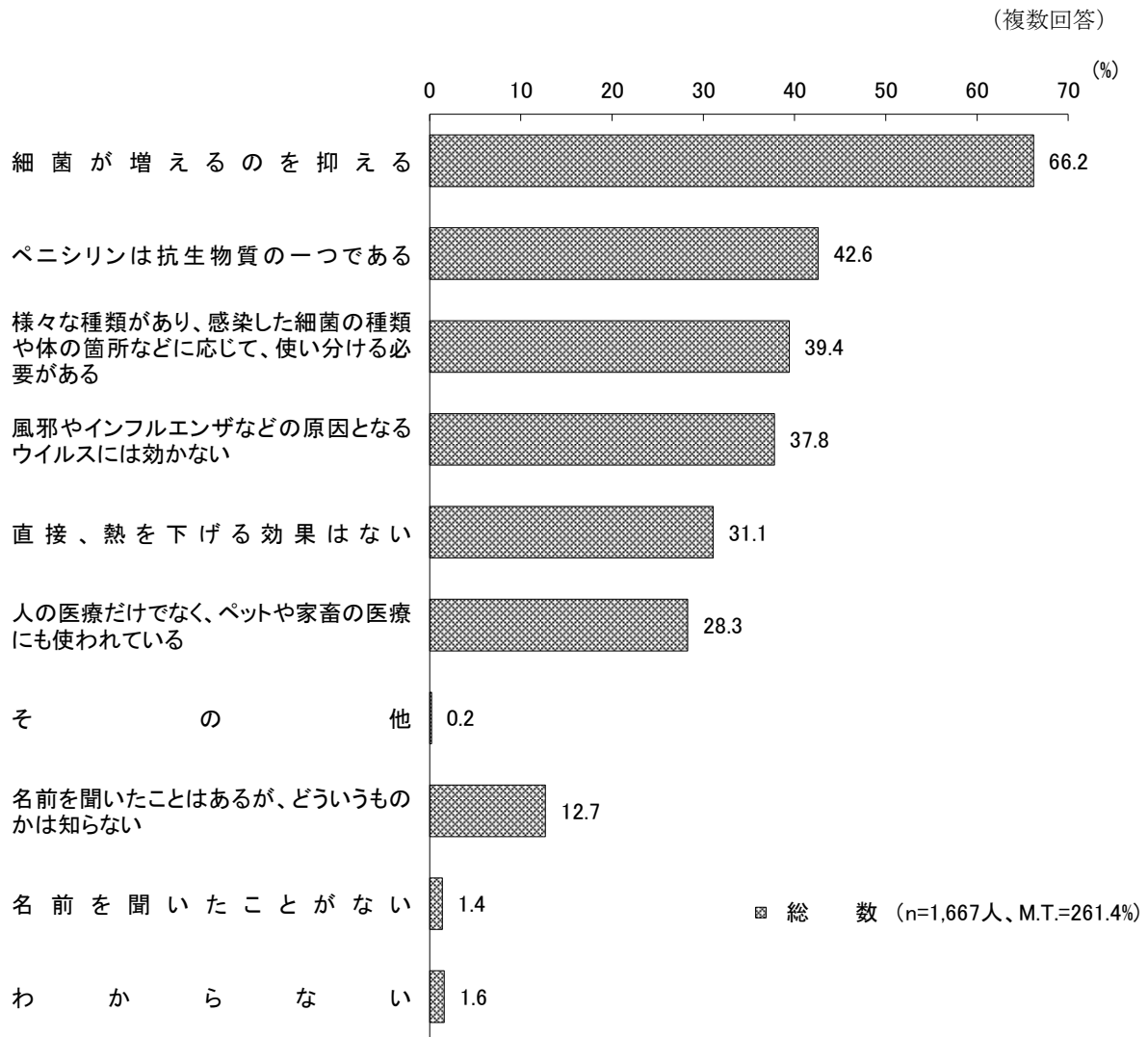


表1 抗生物質について知っていること

(複数回答)

	該 当 者 数	細 菌 が 増 え る の を 抑 え る	ペ ニ シ リ ン は 抗 生 物 質 の 一 つ で あ る	様 々 な 種 類 が あ り 、 感 染 し た 細 菌 の 種 類 や 体 の 箇 所 な ど に 応 じ て 、 使 い 分 け る 必 要 が あ る	風 邪 や イン フル エン ザ な ど の 原 因 と な る ウ イ ル ス に は 効 か な い	直 接 、 熱 を 下 げ る 効 果 は な い	人 の 医 療 だ け で な く 、 ペ ット や 家 畜 の 医 療 に も 使 わ れ て い る	そ の 他	名 前 を 聞 い た こ と は あ る が 、 ど う い う も の か は 知 ら な い	名 前 を 聞 い た こ と が な い	わ か ら な い	計 (M.T.) %
	人 数	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都 市 規 模〕 大 都 市 部 区 政 令 指 定 都 市 中 小 町 〔性 別〕 男 女 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,667	66.2	42.6	39.4	37.8	31.1	28.3	0.2	12.7	1.4	1.6	261.4
大 都 市 部 区	414	67.9	46.9	37.7	39.9	35.7	33.1	0.5	10.1	2.4	1.0	275.1
政 令 指 定 都 市	77	71.4	50.6	51.9	55.8	44.2	45.5	-	2.6	2.6	1.3	326.0
中 都 市	337	67.1	46.0	34.4	36.2	33.8	30.3	0.6	11.9	2.4	0.9	263.5
小 都 市	692	66.6	43.8	41.6	39.6	31.6	27.3	0.3	11.6	0.7	2.3	265.5
町 村	399	63.9	36.3	35.8	35.1	27.8	24.6	-	17.5	1.0	1.5	243.6
〔性 別〕 男 女	162	66.0	42.0	43.2	31.5	25.3	29.6	-	12.3	2.5	0.6	253.1
〔年 齢〕 18 ～ 29 歳	782	64.1	48.1	36.1	33.4	29.2	28.9	0.3	12.8	1.9	1.3	255.9
30 ～ 39 歳	885	68.1	37.7	42.4	41.7	32.9	27.8	0.2	12.7	0.9	1.9	266.3
40 ～ 49 歳	143	62.9	33.6	36.4	27.3	42.0	27.3	-	14.7	2.8	0.7	247.6
50 ～ 59 歳	191	69.6	32.5	36.6	46.6	37.7	25.1	-	12.0	0.5	-	260.7
60 ～ 69 歳	306	75.2	38.9	47.4	50.0	43.5	33.3	-	8.8	0.3	-	297.4
70 歳 以 上	249	75.5	45.4	48.2	44.6	38.2	41.4	0.4	9.2	0.4	0.8	304.0
	299	70.6	54.5	44.1	35.5	23.7	30.8	-	9.4	1.0	1.0	270.6
	479	52.6	42.8	28.8	27.6	18.4	18.4	0.6	18.8	2.7	4.4	215.0

2 抗生物質の服薬に関する意識について

(1) 抗生物質を医師・薬剤師の指示どおり飲んでいくか

抗生物質が処方された時、医師や薬剤師の指示どおりに、飲む量、回数、及び期間をすべて守って飲むことを意識しているか聞いたところ、「医師や薬剤師の指示を常に守って飲むことを意識している」と答えた者の割合が82.0%、「指示どおり飲まないことがある」とする者の割合が13.0%（「医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」9.5%＋「自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」2.8%＋「医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」0.7%）、「薬を飲む機会がない」と答えた者の割合が4.4%となっている。

年齢別に見ると、「指示どおり飲まないことがある」とする者の割合は18～29歳、30歳代で高くなっている。（図2、表2）

図2 抗生物質を医師・薬剤師の指示どおり飲んでいくか

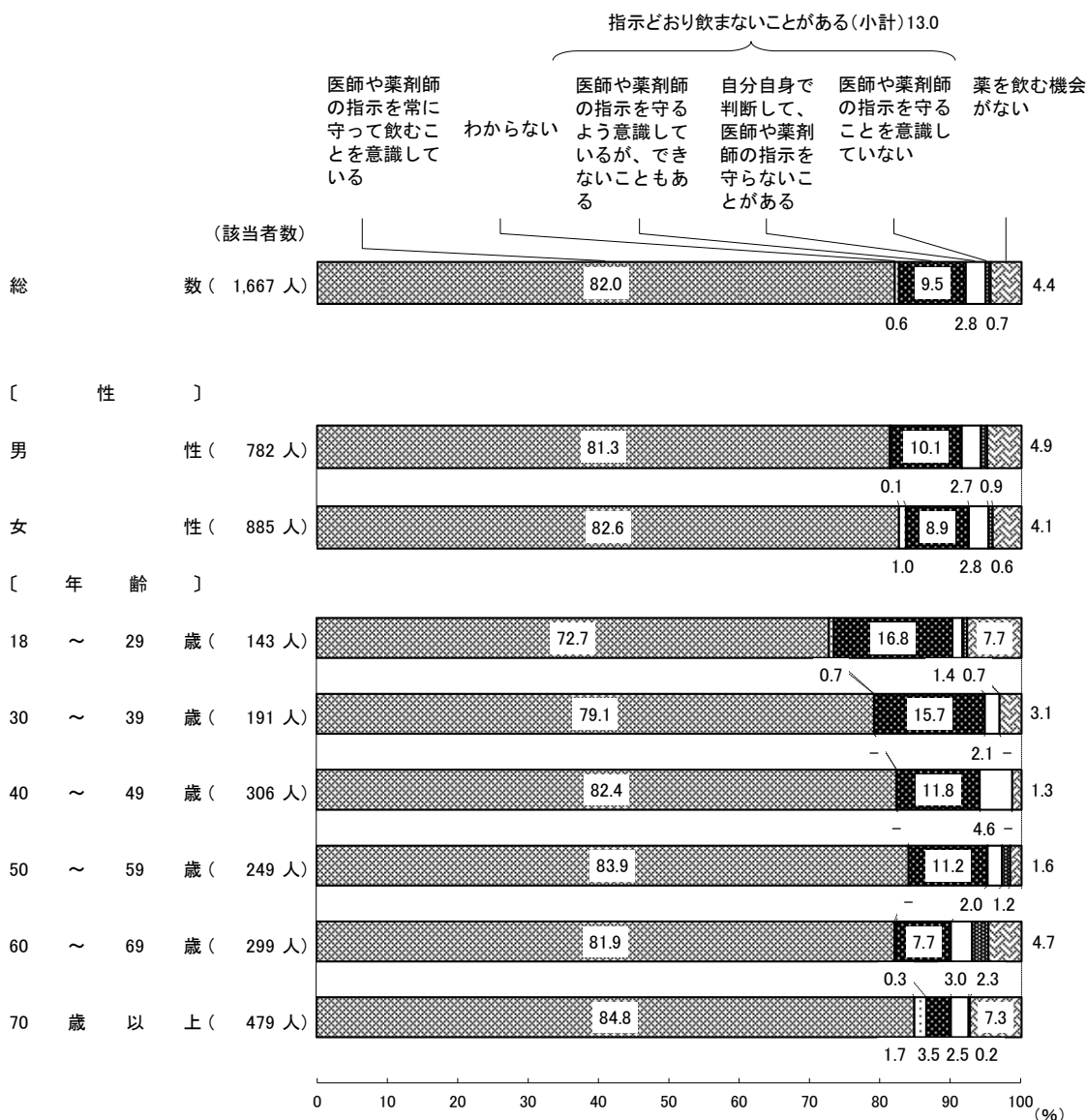


表2 抗生物質を医師・薬剤師の指示どおり飲んでいるか

	該 当 者 数	医師や薬剤師の指示を常に守って飲むことを意識している	指示どおり飲まないことがある (小計)	医師や薬剤師の指示を守ることができない	自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある	医師や薬剤師の指示を守らな	薬を飲む機会がない	わか ら な い
				医師や薬剤師の指示を守ることができない	自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある	医師や薬剤師の指示を守らな		
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,667	82.0	13.0	9.5	2.8	0.7	4.4	0.6
〔都市規模〕								
大都市	414	81.6	13.3	10.9	1.9	0.5	4.1	1.0
東京都区	77	79.2	16.9	15.6	1.3	-	3.9	-
政令指定都市	337	82.2	12.5	9.8	2.1	0.6	4.2	1.2
中都市	692	81.4	14.2	10.4	2.5	1.3	4.3	0.1
小都市	399	82.7	10.5	7.5	3.0	-	6.0	0.8
町	162	84.0	13.0	6.8	5.6	0.6	1.9	1.2
〔性〕								
男	782	81.3	13.7	10.1	2.7	0.9	4.9	0.1
女	885	82.6	12.3	8.9	2.8	0.6	4.1	1.0
〔年齢〕								
18～29歳	143	72.7	18.9	16.8	1.4	0.7	7.7	0.7
30～39歳	191	79.1	17.8	15.7	2.1	-	3.1	-
40～49歳	306	82.4	16.3	11.8	4.6	-	1.3	-
50～59歳	249	83.9	14.5	11.2	2.0	1.2	1.6	-
60～69歳	299	81.9	13.0	7.7	3.0	2.3	4.7	0.3
70歳以上	479	84.8	6.3	3.5	2.5	0.2	7.3	1.7

ア 指示どおり飲めない理由

抗生物質が処方された時、「医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」、「自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」、「医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」と答えた者（216人）に、医師や薬剤師の指示どおりに飲めないことがあるのはなぜか聞いたところ、「途中で治ったらそれ以上必要と思わないから」を挙げた者の割合が52.3%と最も高く、以下、「そもそも薬を飲むのは最低限にしたいから」（35.6%）、「指示通り飲むのを忘れてしまうから」（34.7%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

性別に見ると、大きな差異は見られない。

（図3、表3）

図3 指示どおり飲めない理由

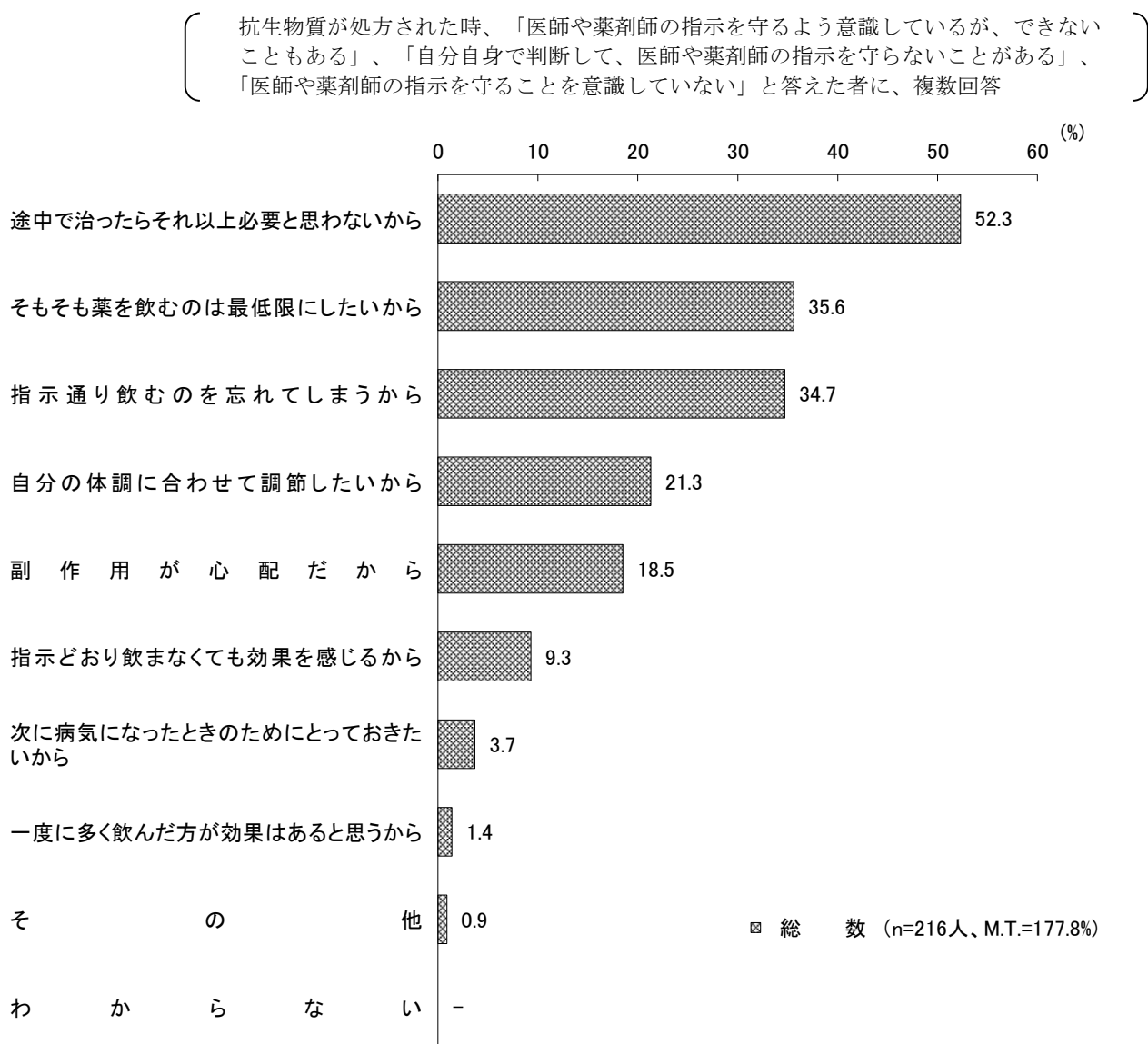


表3 指示どおり飲めない理由

抗生物質が処方された時、「医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」、「自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」、「医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」と答えた者に、複数回答

	該 当 者 数	途中 から い 途 中 で 治 つ た ら そ れ 以 上 必 要 と 思 わ な い	か も も 薬 を 飲 む の は 最 低 限 に し た い	指 示 通 り 飲 む の を 忘 れ て し ま う か ら	自 分 の 体 調 に 合 わ せ て 調 節 し た い か ら	副 作 用 が 心 配 だ か ら	か 指 示 ど お り 飲 ま な く も 効 果 を 感 じ る	次 に 病 気 に な つ た と き の た め に と つ て お き た い か ら	一 度 に 多 く 飲 ん だ 方 が 効 果 は あ る と 思 う か ら	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.) %
総 〔都市規模〕 大 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 町 〔性〕 男 女 〔年 齢〕 18 30 40 50 60 70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	216	52.3	35.6	34.7	21.3	18.5	9.3	3.7	1.4	0.9	-	177.8
大 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市	55	50.9	32.7	40.0	20.0	12.7	7.3	-	1.8	-	-	165.5
東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市	13	46.2	23.1	30.8	15.4	-	7.7	-	7.7	-	-	130.8
政 令 指 定 都 市	42	52.4	35.7	42.9	21.4	16.7	7.1	-	-	-	-	176.2
中 都 市	98	55.1	41.8	33.7	17.3	23.5	8.2	4.1	-	1.0	-	184.7
小 都 市	42	45.2	26.2	38.1	23.8	11.9	14.3	4.8	4.8	2.4	-	171.4
町 〔性〕 男 女	21	57.1	33.3	19.0	38.1	23.8	9.5	9.5	-	-	-	190.5
〔年 齢〕 18 30 40 50 60 70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	107	50.5	33.6	39.3	18.7	16.8	7.5	2.8	0.9	-	-	170.1
男 女	109	54.1	37.6	30.3	23.9	20.2	11.0	4.6	1.8	1.8	-	185.3
18 30 40 50 60 70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	27	51.9	11.1	51.9	25.9	3.7	3.7	-	-	-	-	148.1
30 40 50 60 70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	34	55.9	32.4	47.1	26.5	23.5	5.9	-	2.9	-	-	194.1
40 50 60 70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	50	52.0	34.0	36.0	20.0	18.0	6.0	4.0	2.0	2.0	-	174.0
50 60 70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	36	52.8	30.6	30.6	19.4	11.1	8.3	8.3	2.8	2.8	-	166.7
60 70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	39	48.7	46.2	35.9	10.3	23.1	12.8	7.7	-	-	-	184.6
70 ～ ～ ～ ～ ～ 歳 以 上	30	53.3	56.7	6.7	30.0	30.0	20.0	-	-	-	-	196.7

3 薬剤耐性の理解度について

(1) 薬剤耐性についてどの程度知っているか

「薬剤耐性」についてどの程度知っているか聞いたところ、「知っている」とする者の割合が49.9%（「よく知っている」18.7%+「言葉だけ知っている」31.2%）、「知らない」と答えた者の割合が48.7%となっている。

都市規模別に見ると、「知っている」とする者の割合は大都市で、「知らない」と答えた者の割合は町村で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「知っている」とする者の割合は40歳代、50歳代で、「知らない」と答えた者の割合は70歳以上で、それぞれ高くなっている。（図4、表4）

図4 薬剤耐性についてどの程度知っているか

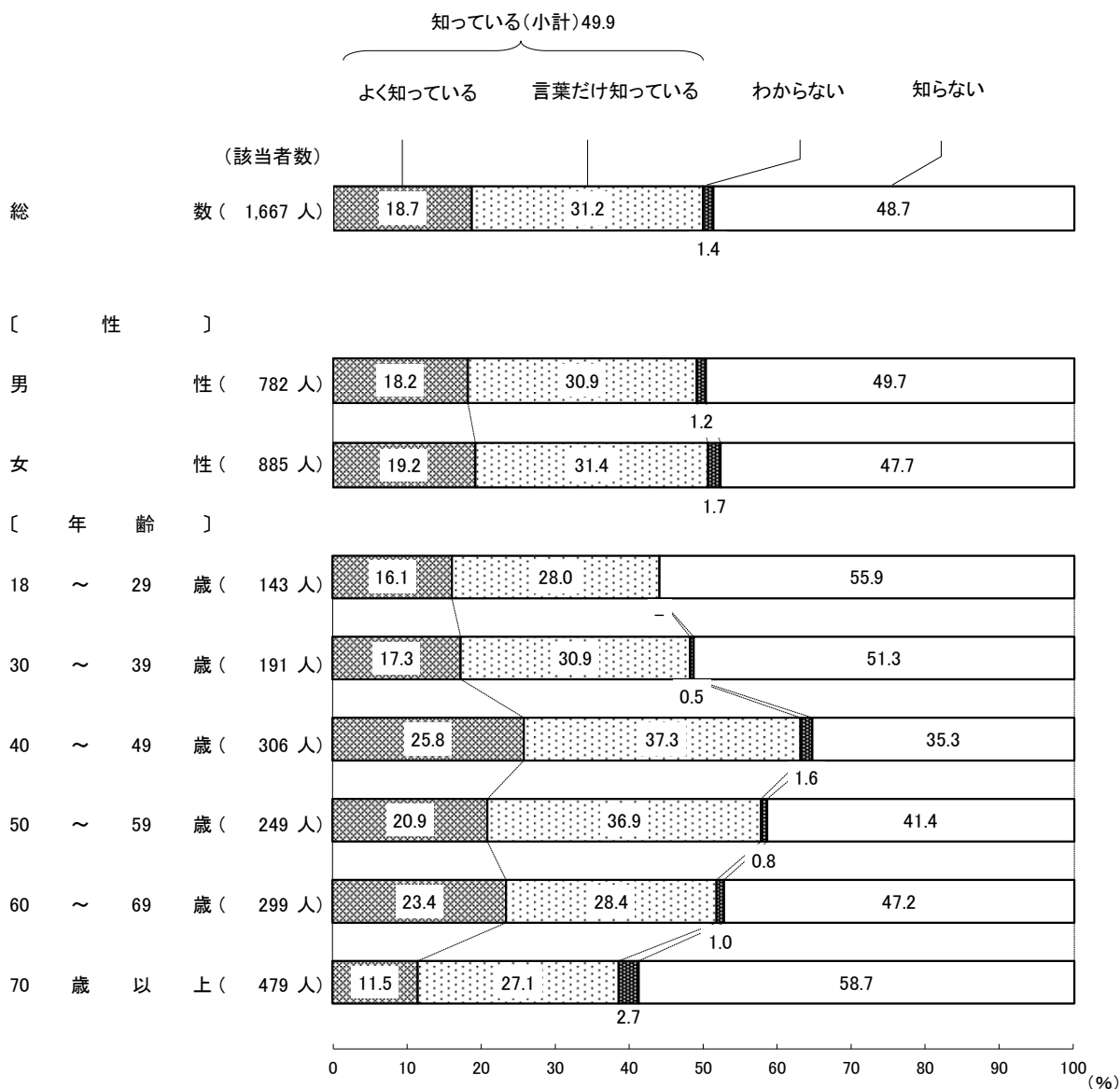


表4 薬剤耐性についてどの程度知っているか

	該 当 者 数	知 っ て (小計) る	知		知 ら な い	わ か ら な い
			よ く 知 っ て い る	言 葉 だ け 知 っ て い る		
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	人 1,667	% 49.9	% 18.7	% 31.2	% 48.7	% 1.4
	414	56.5	19.8	36.7	42.3	1.2
	77	70.1	28.6	41.6	28.6	1.3
	337	53.4	17.8	35.6	45.4	1.2
	692	50.4	20.2	30.2	48.6	1.0
	399	45.4	15.0	30.3	51.9	2.8
	162	42.0	18.5	23.5	57.4	0.6
	782	49.1	18.2	30.9	49.7	1.2
	885	50.6	19.2	31.4	47.7	1.7
	143	44.1	16.1	28.0	55.9	-
	191	48.2	17.3	30.9	51.3	0.5
	306	63.1	25.8	37.3	35.3	1.6
	249	57.8	20.9	36.9	41.4	0.8
	299	51.8	23.4	28.4	47.2	1.0
	479	38.6	11.5	27.1	58.7	2.7

ア どのようなことを知っているか

「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者（832人）に、「薬剤耐性」について、どのようなことを知っているか聞いたところ、「感染症を起こす菌に抗生物質が効かなくなる」を挙げた者の割合が75.6%と最も高く、以下、「抗生物質を正しく飲まない、薬剤耐性菌が体の中で増えるおそれがある」（53.7%）、「日本だけでなく、世界中で薬剤耐性菌が見つかった」（37.9%）などの順となっている。（複数回答、上位3項目）

性別に見ると、大きな差異は見られない。

（図5、表5）

図5 どのようなことを知っているか

（「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答）

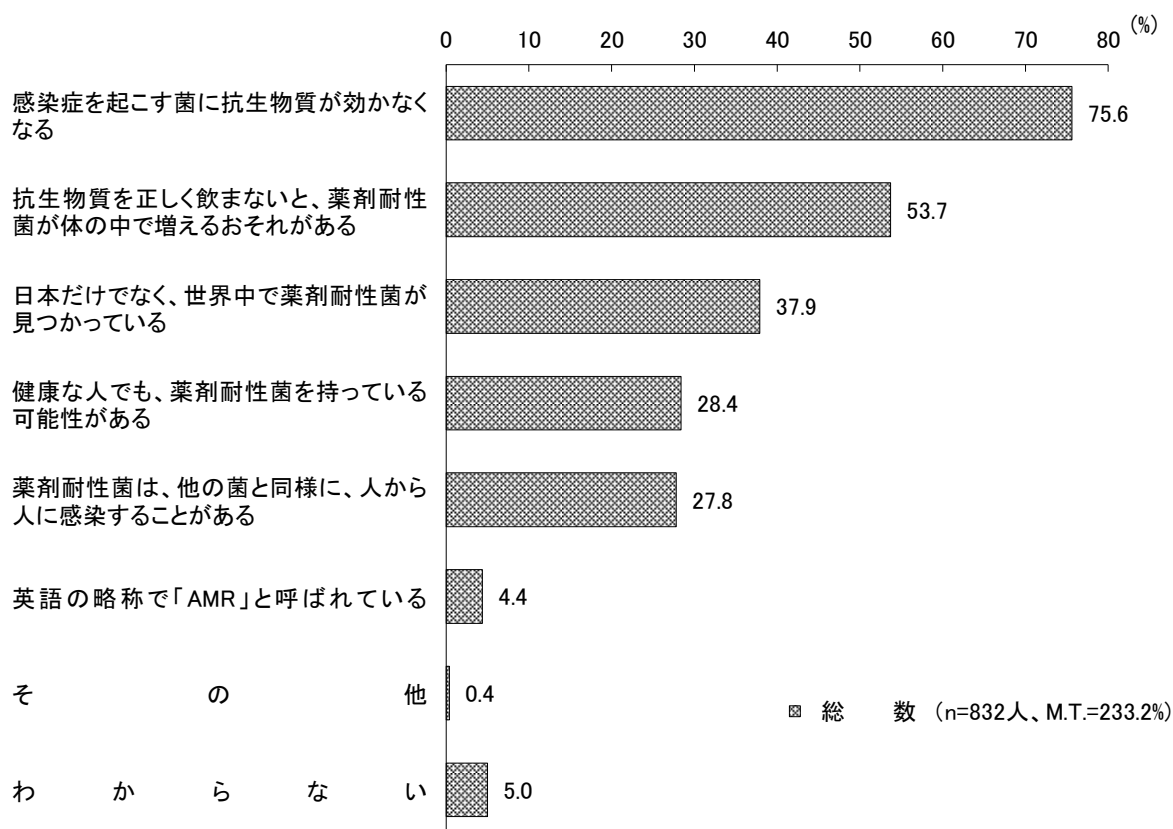


表5 どのようなことを知っているか

(「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	な る 感 染 症 を 起 こ す 菌 に 抗 生 物 質 が 効 か な く	抗 生 物 質 を 正 し く 飲 ま な い と、 薬 剤 耐 性 菌 が 体 中 で 増 え る お そ れ が あ る	日 本 だ け で な く、 世 界 中 で 薬 剤 耐 性 菌 が 見 つ か つ て い る	健 康 な 人 で も、 薬 剤 耐 性 菌 を 持 つ て い る 可 能 性 が あ る	薬 剤 耐 性 菌 は、 他 の 菌 と 同 様 に、 人 か ら に 感 染 す る こ と が あ る	英 語 の 略 称 で 「 A M R 」 と 呼 ば れ て い る	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人 数	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕	832	75.6	53.7	37.9	28.4	27.8	4.4	0.4	5.0	233.2
大 都 市	234	74.4	58.5	39.3	26.5	24.8	3.4	-	7.7	234.6
東 京 都 区 部	54	72.2	68.5	38.9	27.8	27.8	7.4	-	1.9	244.4
政 令 指 定 都 市	180	75.0	55.6	39.4	26.1	23.9	2.2	-	9.4	231.7
中 都 市	349	76.2	52.1	37.0	28.9	28.4	5.4	0.6	2.0	230.7
小 都 市	181	76.2	48.6	34.8	26.5	24.9	3.3	0.6	8.3	223.2
町 村	68	75.0	58.8	45.6	36.8	42.6	5.9	-	2.9	267.6
〔 性 〕										
男 性	384	73.2	53.1	41.4	27.9	29.9	3.9	0.3	5.2	234.9
女 性	448	77.7	54.2	34.8	28.8	25.9	4.9	0.4	4.9	231.7
〔 年 齢 〕										
18 ～ 29 歳	63	69.8	54.0	34.9	39.7	25.4	7.9	-	3.2	234.9
30 ～ 39 歳	92	83.7	51.1	33.7	22.8	21.7	2.2	-	2.2	217.4
40 ～ 49 歳	193	81.3	60.6	40.9	29.5	31.6	4.1	0.5	3.6	252.3
50 ～ 59 歳	144	78.5	56.3	40.3	29.2	29.9	4.9	0.7	3.5	243.1
60 ～ 69 歳	155	76.1	56.1	43.2	28.4	29.7	5.2	-	3.9	242.6
70 歳 以 上	185	64.9	43.8	31.4	25.4	24.3	3.8	0.5	10.8	204.9

イ 薬剤耐性についての情報入手先

「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者（832人）に、「薬剤耐性」についてどこから情報を得たか聞いたところ、「テレビ・ラジオ・新聞」を挙げた者の割合が49.9%と最も高く、以下、「医師」（29.4%）などの順となっている。（複数回答、上位2項目）
 （図6、表6）

図6 薬剤耐性についての情報入手先

（「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答）

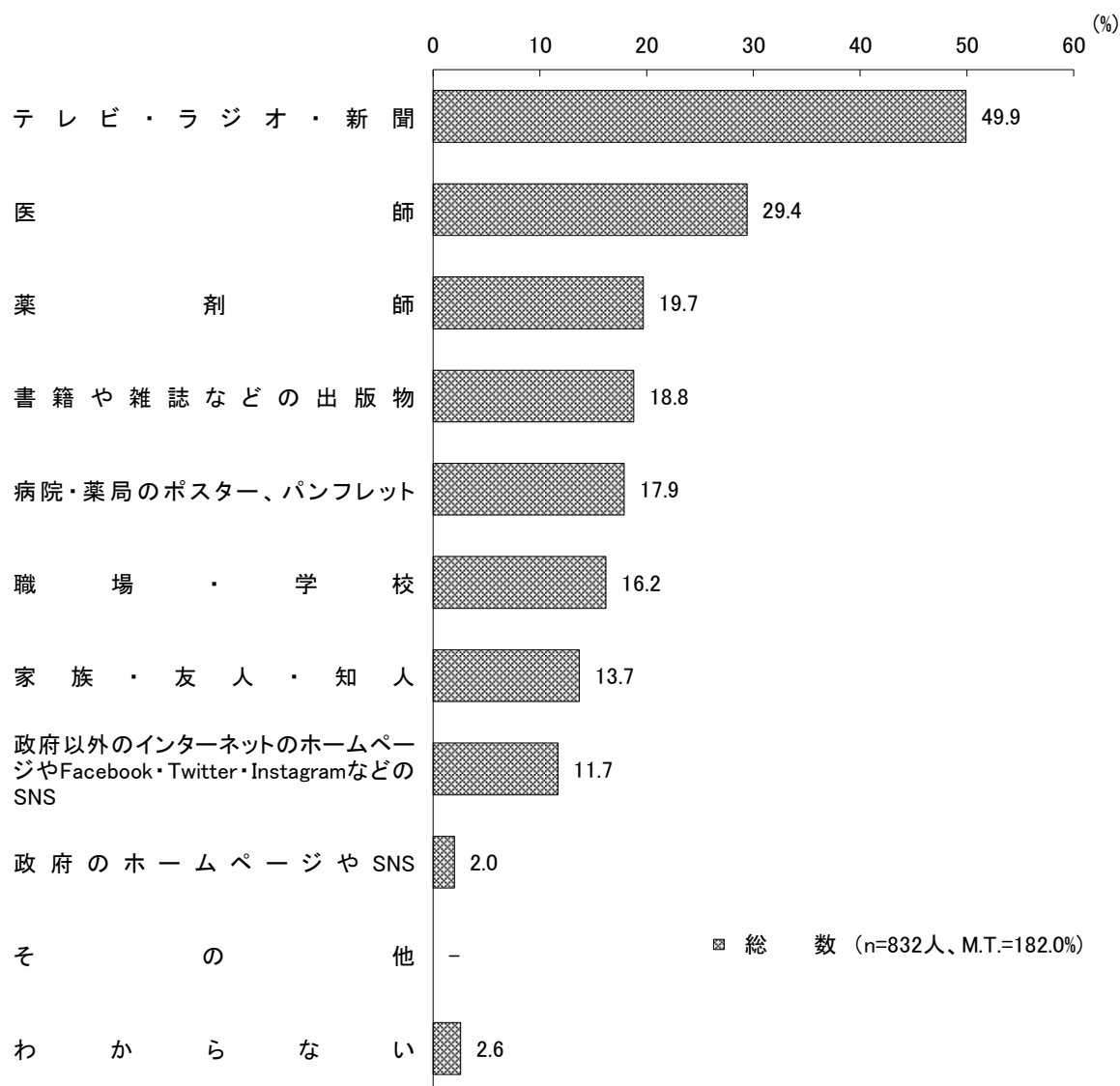


表6 薬剤耐性についての情報入手先

(「薬剤耐性」について「よく知っている」、「言葉だけ知っている」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ ・ 新 聞	医 師	薬 師	書 籍 や 雑 誌 な ど の 出 版 物	病 院 ・ 薬 局 の ポ ス タ ー、 パ ン フ レ ッ ト	職 場 ・ 学 校	家 族 ・ 友 人 ・ 知 人	I n f o r m a t i o n S t a g r a m な ど の S N S	政 府 以 外 の イ ン タ ー ネ ッ ト の ホ ー ム ペ ー ジ や S N S	政 府 の ホ ー ム ペ ー ジ や S N S	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.) %
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 〔性〕 男 女 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	832 234 54 180 349 181 68 384 448 63 92 193 144 155 185	49.9 47.4 48.1 47.2 51.0 49.2 54.4 51.0 48.9 33.3 45.7 47.2 53.5 56.1 52.4	29.4 26.1 35.2 23.3 29.5 32.0 33.8 30.5 28.6 22.2 20.7 25.4 29.9 33.5 36.8	19.7 15.0 18.5 13.9 21.8 19.9 25.0 20.8 18.8 12.7 16.3 13.5 14.6 23.9 30.8	18.8 15.8 16.7 15.6 19.8 16.6 29.4 19.8 17.9 14.3 18.5 19.7 18.1 23.9 15.7	17.9 12.0 14.8 11.1 20.9 17.1 25.0 16.4 19.2 15.9 16.3 18.7 18.8 17.4 18.4	16.2 14.1 14.8 13.9 16.3 14.4 27.9 15.9 16.5 38.1 23.9 18.7 16.7 13.5 4.3	13.7 15.0 18.5 13.9 14.6 9.4 16.2 12.2 15.0 15.9 17.4 13.0 9.7 12.9 15.7	11.7 16.7 20.4 15.6 11.2 7.7 7.4 15.4 8.5 15.9 17.4 15.5 13.2 7.1 5.9	2.0 2.6 1.9 2.8 1.7 1.7 2.9 3.1 1.1 6.3 2.2 0.5 2.1 2.6 1.6	- - - - - - - - - - - - - - -	2.6 2.6 1.9 2.8 0.9 6.1 2.9 1.6 3.6 - 1.1 2.1 1.4 1.9 6.5	182.0 167.1 190.7 160.0 187.7 174.0 225.0 186.7 177.9 174.6 179.3 174.1 177.8 192.9 188.1	

4 薬剤耐性対策の理解度について

(1) 薬剤耐性菌を増やさないための心がけ

薬剤耐性菌を増やさないために心がけていることはあるか聞いたところ、「抗生物質は医師や薬剤師の指示どおり飲み切る」を挙げた者の割合が 69.4%と最も高く、以下、「手洗い、マスクをつけるなどの感染予防対策」(54.1%)、「抗生物質を他人にあげたり、他人からもらったりしない」(40.1%)、「むやみに抗生物質の処方を希望しない」(29.9%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

性別に見ると、「抗生物質は医師や薬剤師の指示どおり飲み切る」、「手洗い、マスクをつけるなどの感染予防対策」、「抗生物質を他人にあげたり、他人からもらったりしない」、「むやみに抗生物質の処方を希望しない」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「抗生物質は医師や薬剤師の指示どおり飲み切る」を挙げた者の割合は 50 歳代で、「抗生物質を他人にあげたり、他人からもらったりしない」を挙げた者の割合は 40 歳代、50 歳代で、それぞれ高くなっている。(図7、表7)

図7 薬剤耐性菌を増やさないための心がけ

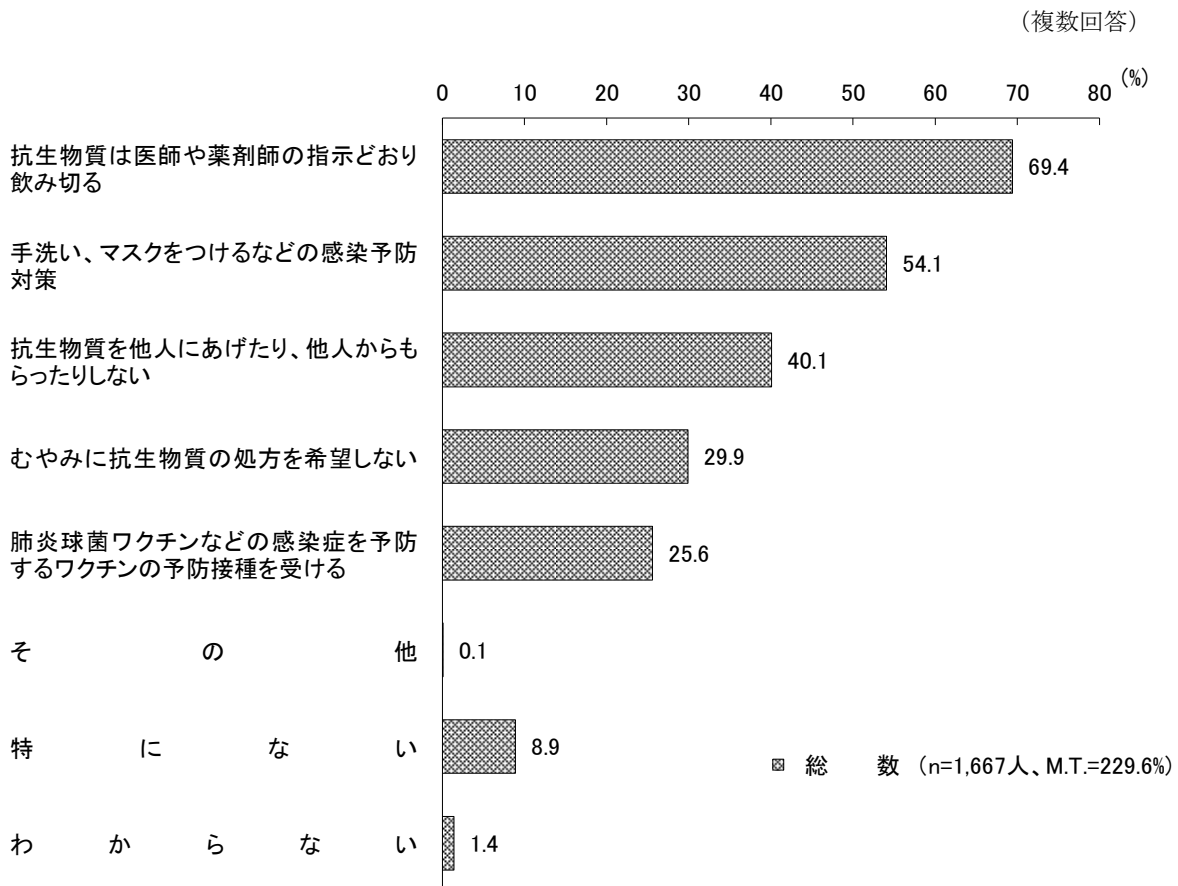


表7 薬剤耐性菌を増やさないための心がけ

(複数回答)

	該 当 者 数	飲抗 み生 切物 る質 は医 師や 薬劑 師の 指示 どお り	手洗 い、 マス クを つけ るな どの 感染 予 防策	抗生 物質 を他 人に あげ たり、 他人 から もら った りし ない	むや みに 抗生 物質 の処 方を 希望 しな い	肺炎 球菌 ワク チン など の感 染症 を予 防 する ワク チン の予 防接 種を 受け る	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都 市規 模〕	1,667	69.4	54.1	40.1	29.9	25.6	0.1	8.9	1.4	229.6
大 都 市	414	68.4	54.6	39.9	32.6	23.9	-	8.5	1.2	229.0
東 京 都 区 部	77	72.7	64.9	45.5	40.3	28.6	-	3.9	-	255.8
政 令 指 定 都 市	337	67.4	52.2	38.6	30.9	22.8	-	9.5	1.5	222.8
中 都 市	692	68.1	51.3	41.3	29.5	25.6	-	10.3	1.3	227.3
小 都 市	399	70.2	57.4	40.4	28.8	27.6	0.3	9.5	1.3	235.3
町 村	162	75.9	56.8	35.2	27.8	24.7	-	3.1	3.1	226.5
〔性〕										
男 性	782	64.8	46.8	33.8	25.6	20.1	0.1	12.4	1.2	204.7
女 性	885	73.4	60.6	45.8	33.8	30.4	-	5.9	1.7	251.5
〔年 齢〕										
18 ～ 29 歳	143	55.2	61.5	43.4	21.7	22.4	-	12.6	0.7	217.5
30 ～ 39 歳	191	67.5	52.9	41.4	27.7	16.2	-	10.5	-	216.2
40 ～ 49 歳	306	73.2	55.9	46.4	30.4	22.5	-	7.8	0.7	236.9
50 ～ 59 歳	249	75.9	56.6	50.2	32.9	18.1	0.4	6.8	0.8	241.8
60 ～ 69 歳	299	73.6	53.5	35.1	31.4	30.8	-	7.0	1.7	233.1
70 歳 以 上	479	66.0	50.3	32.6	30.5	32.8	-	10.2	2.9	225.3

薬が効かない（薬剤耐性）感染症に関する世論調査

令和元年8月

調査時期：令和元年8月22日から令和元年9月1日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,667人(55.6%)

話は変わりますが、次に「薬が効かない感染症」に関してお聞きします。

1 抗生物質の理解度について

Q1【回答票1】あなたは、薬の分類の一つである「抗生物質」について、知っていることはありますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (66.2) (ア) 細菌が増えるのを抑える
- (37.8) (イ) 風邪やインフルエンザなどの原因となるウイルスには効かない
- (31.1) (ウ) 直接、熱を下げる効果はない
- (42.6) (エ) ペニシリンは抗生物質の一つである
- (39.4) (オ) 様々な種類があり、感染した細菌の種類や体の箇所などに応じて、使い分ける必要がある
- (28.3) (カ) 人の医療だけでなく、ペットや家畜の医療にも使われている
- (12.7) (キ) 名前を聞いたことはあるが、どういうものかは知らない
- (1.4) (ク) 名前を聞いたことがない
- (0.2) その他 ()
- (1.6) わからない (M.T.=261.4)



(Q2へ)

2 抗生物質の服薬に関する意識について

(【資料1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料1】

「抗生物質」と一般的に呼ばれている薬は、溶連菌感染症や中耳炎などの感染症の治療に使われる薬を指します。このあとの質問では「抗生物質」は感染症の薬と考えてお答えください。

Q2【回答票2】あなたは、抗生物質が処方された時、医師や薬剤師の指示どおりに、飲む量、回数、及び期間をすべて守って飲むことを意識していますか。この中から1つだけお答えください。

(82.0) (ア) 医師や薬剤師の指示を常に守って飲むことを意識している → (Q3へ)

(9.5) (イ) 医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある

(2.8) (ウ) 自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある

(0.7) (エ) 医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない

(4.4) (オ) 薬を飲む機会がない

(0.6) わからない → (Q3へ)

(Q2で「(イ) 医師や薬剤師の指示を守るよう意識しているが、できないこともある」、「(ウ) 自分自身で判断して、医師や薬剤師の指示を守らないことがある」、「(エ) 医師や薬剤師の指示を守ることを意識していない」と答えた方に)

SQ【回答票3】あなたは、抗生物質を飲むとき、医師や薬剤師の指示どおりに飲めないことがあるのはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(n=216)

(52.3) (ア) 途中で治ったらそれ以上必要と思わないから

(18.5) (イ) 副作用が心配だから

(35.6) (ウ) そもそも薬を飲むのは最低限にしたいから

(1.4) (エ) 一度に多く飲んだ方が効果はあると思うから

(34.7) (オ) 指示通り飲むのを忘れてしまうから

(21.3) (カ) 自分の体調に合わせて調節したいから

(9.3) (キ) 指示どおり飲まなくても効果を感じるから

(3.7) (ク) 次に病気になったときのためにとっておきたいから

(0.9) その他 ()

(-) わからない

(M.T.=177.8)



(Q3へ)

3 薬剤耐性の理解度について

(全員の方に)

Q 3 [回答票 4] あなたは「薬剤耐性」についてどの程度知っていますか。
この中から 1 つだけお答えください。

(18.7) (ア) よく知っている

(31.2) (イ) 言葉だけ知っている

(48.7) (ウ) 知らない

(1.4) わからない

→ (Q 4 へ)

(Q 3 で「(ア) よく知っている」、「(イ) 言葉だけ知っている」と答えた方に)

S Q 1 [回答票 5] あなたは、「薬剤耐性」について、どのようなことを知っていますか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=832)

(75.6) (ア) 感染症を起こす菌に抗生物質が効かなくなる

(53.7) (イ) 抗生物質を正しく飲まない、薬剤耐性菌が体の中で増えるおそれがある

(27.8) (ウ) 薬剤耐性菌は、他の菌と同様に、人から人に感染することがある

(37.9) (エ) 日本だけでなく、世界中で薬剤耐性菌が見つかっている

(28.4) (オ) 健康な人でも、薬剤耐性菌を持っている可能性がある

(4.4) (カ) 英語の略称で「^{エーエムアール}A M R」と呼ばれている

(0.4) その他 ()

(5.0) わからない

(M.T.=233.2)

(Q 3 で「(ア) よく知っている」、「(イ) 言葉だけ知っている」と答えた方に)

S Q 2 [回答票 6] あなたは、「薬剤耐性」についてどこから情報を得ましたか。
この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(n=832)

(29.4) (ア) 医師

(19.7) (イ) 薬剤師

(17.9) (ウ) 病院・薬局のポスター、パンフレット

(11.7) (エ) 政府以外のインターネットのホームページや ^{フェイスブック} Facebook・^{ツイッター} Twitter・^{インスタグラム} Instagram
などの SNS

(2.0) (オ) 政府のホームページや SNS

(49.9) (カ) テレビ・ラジオ・新聞

(18.8) (キ) 書籍や雑誌などの出版物

(16.2) (ク) 職場・学校

(13.7) (ケ) 家族・友人・知人

(-) その他 ()

(2.6) わからない

(M.T.=182.0)



(Q 4 へ)

4 薬剤耐性対策の理解度について

(全員の方に)

(【資料2】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

【資料2】

感染症の原因となる細菌に抗菌薬、いわゆる抗生物質が効きにくくなる、又は効かなくなることを「薬剤耐性」といいます。また、抗生物質に耐性を持った菌のことを「薬剤耐性菌」といいます。

体の中で薬剤耐性菌が増えてしまうと、抗生物質が効かないため、これまでは、処方された薬の用法や用量を守って適切に治療すれば軽症で回復できた感染症であっても、治療が難しくなり、重症化したり、さらには死亡に至る可能性が高まります。

Q4【回答票7】薬剤耐性菌を増やさないためには、次のようなことが有効とされています。あなたは、薬剤耐性菌を増やさないために心がけていることはありますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

(69.4) (ア) 抗生物質は医師や薬剤師の指示どおり飲み切る

(40.1) (イ) 抗生物質を他人にあげたり、他人からもらったりしない

(29.9) (ウ) むやみに抗生物質の処方を希望しない

(25.6) (エ) 肺炎球菌ワクチンなどの感染症を予防するワクチンの予防接種を受ける

(54.1) (オ) 手洗い、マスクをつけるなどの感染予防対策

(8.9) (カ) 特にない

(0.1) その他 ()

(1.4) わからない

(M.T.=229.6)